

学問としての国際開発工学

単なる技術援助との違いは何か？

学問としては成立

最先端科学と整合するか？

(1) 新しい知の創出

ガラパゴス化：狭い学問コミュニティー
(成果発表が国内・領域で閉じる)

哲学論文：一度も引用されない論文
(存在しないに等しい成果)

東工大 平均SCI論文 26
平均引用数 12

世界標準教授 H-index 15～20程度

(2) 普遍性

物理学 VS 博物学
進化生物学 VS 文明論・歴史学
国際開発 VS 社会学

単なるケーススタディーではなく、
普遍性を追求する必要性

(1) 新しい知の創出

(2) 普遍化

・グローバル自然科学

(例: モンスーン、珊瑚保全、黄砂)

・他地域へ転用可能な新技術

(例: バイオトイレ、自然農法、点滴灌漑)

・他地域へ転用可能な新システム

(例: 街づくり+人+技術)

・地域性を考慮した技術の汎用化・普遍化

(例: WMO体感温度理論)

(1) アカデミズム志向は途上国でも

(2) 学際・国際化とガラパゴス化の分岐点

(3) アカデミアンの育成(知の創造を協働)